２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	科　名インダストリアルマーチャンダイジング２年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ	科目名　マーチャンダイジング論Ⅰ	授業期間	（　　）

担当教員（代表）：佐藤正臣	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

★アパレル・ファッション小売業において最重要の位置づけであるマーチャンダイジングの基礎理解を深める

- （学生との）コミュニケーション。相互理解
- MDの仕事とは？その目的は？（5滴・MDは真摯であること？）
- 自分のたちのショップコンセプトを考えよう（あくまで練習段階）
- 自分たちのBRのMAP作り→テーマ・打ち出し・主力商品の商品企画
- 損益計算書を学ぶ
- MD数字基礎講義（売価・原価・粗利益・値入を知る。）
- 粗利益を深く考える（粗利益＝付加価値）
- 仕入設計の考え方（講義）
- MD数字基礎講義（OTBのロジック）
- 実際にOTB設計（前期の資料を活用）
- その他、基礎学力向上のテキスト問題を解く

評価方法・対象・比重

出席：理解（６：４）

主要教材図書　弊社作成 PPT・Excel

参考図書

その他資料

記載者氏名　佐藤正臣

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　1242　　科　名　インダストリアルマーチャンダイジング科　2 年		単　　位	１４　単位
科目ｺｰﾄﾞ 104～107　科目名　アパレル造形		授業期間	（　通年　　）

担当教員(代表)：花田　浩朝	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

商品としての服作りを意識し、シーズンごとのコンセプトやターゲットをもとに作品を制作する。人体の構造や運動機能を視野に入れ平面裁断、立体裁断のテクニックを習得し、デザイン発想力と表現力を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・アパレル造形　　論　　２単位

・アパレル造形演習　デザイン　４単位

・アパレル造形演習　実技　　６単位

・アパレル造形演習　ドレーピング　２単位

１、シーズン表現Ⅰ　［４５コマ］　一重仕立てのアウターとボトムをコーディネートで制作

作図理論解説（３種）、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導

縫製指導、部分縫い指導（２種）、レポート作成

２、立体裁断Ⅰ　［２０コマ］

タイトスカート、セミフレアースカート。フレアースカート

ショルダーダーツ、ウエストダーツ、胸ぐせのバリエーション

３、シーズン表現Ⅱ　［５０コマ］　ウールを使用したアウターとボトムをコーディネートで制作

作図理論解説（３種）、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導

縫製指導、部分縫い指導（２種）、レポート作成

４、立体裁断Ⅱ　［１７コマ］

シャツカラーのブラウス、スタンドカラー、フラットカラー

５、シーズン表現Ⅲ　（修了制作）［７３コマ］

作図理論解説（２種）、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導

縫製指導、部分縫い指導（２種）、レポート作成

【評価方法】

・アパレル造形論・・・筆記試験100%　・ドレーピング・・・製作物50%、実技試験30%、授業姿勢20%

・デザイン・実技・・・製作物70%、レポート10%、授業姿勢20%

主要教材図書　服飾造形講座　スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ
高級素材、特殊素材、立体裁断基礎編

参考図書　　情報誌

その他資料　参考標本、プリント

授業の特徴と担当教員紹介

作品はコンセプトやイメージモデルを設定し、テーマに沿って制作をする。

立体裁断は基本に時間をかけ、布目の流れやパターンの基本構造を理解させる

担当教員紹介・・・アパレル造形を主に指導。約 15 年マーチャンダイジング科を担当。

記載者氏名　　花田　浩朝

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	科　名　インダストリアル MD 科 2 年	単　　位	1
科目ｺｰﾄﾞ	科目名　生産管理概論	授業期間	前期

担当教員(代表)：井戸川　倫也	共同担当者：

科目概要

アパレル産業の生産プロセスを、縫製工場とアパレルメーカーの双方から捉え、工業生産についての理解を深めることを目標とする。また、縫製仕様書や加工・裁断・芯貼り指図書や工程分析表などの作成を通して、生産情報の伝達・管理手法や量産的な考え方を学習し、基礎レベルの習得を目指す。

授業概要

Ⅰ.ガイダンス　（1 ｺﾏ）
① 授業概要（提出物・試験・評価方法　等）
② 生産管理とは
③ アパレル産業の現状

Ⅱ.工業生産と生産プロセスの概要（3 コマ）
① 工業生産とは
② アパレル生産の概要とフロー

Ⅲ. 生産指示書概要　（4 ｺﾏ）
① 加工・裁断・芯貼り指図書
② 縫製仕様書
③ 工程分析表
④ 各自の工程分析表の作成演習

Ⅳ. アパレル製品の品質と標準化　（2 ｺﾏ）
① 品質とは
② 縫製不良
③ 標準化への各種取り組み

Ⅴ. 試験対策　（1 ｺﾏ）
① 試験範囲と内容について

Ⅵ. 製造原価　（1 ｺﾏ）
① 原価とは
② 製造原価計算

Ⅶ. 海外生産と貿易（1 コマ）
① 海外生産の概要
② 貿易におけるプロセスとキャッシュフロー

Ⅷ. 試験解答（1 ｺﾏ）
① 試験解答の実施

評価方法・対象・比重
出席率（30%）＋提出物（30%）＋筆記試験（40%）

主要教材図書　なし

参考図書　なし

その他資料　プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介
アパレル産業の生産プロセスと工業生産を理解することができる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者書名欄　井戸川　倫也

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　1242	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科　2 年	単　　位	2　単位
科目ｺｰﾄﾞ 122～123	科目名	自由研究Ⅱa/Ⅱb	授業期間	（　通年　　）

担当教員(代表)：花田　浩朝	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル造形のカリキュラムを応用発展させ、カリキュラムの特色を生かしたコンセプトの設定や発表の
を行う。

【授業計画】
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

自由研究Ⅱa

１、各課題にコンセプト設定をし、マップ作成をおこなう。
　制作後プレゼンテーション形式で発表できるようにまとめる。

２、アパレル造形の作品発表に効果的なコーディネートに必要なものを制作する。

自由研究Ⅱｂ

　修了制作ショーにおいて各パートの活動運営に参加する

【評価方法】
評価認定（P）
　学業姿勢、出席状況により

主要教材図書　　なし

参考図書　　なし

その他資料を　なし

授業の特徴と担当教員紹介
　作品制作の段階で重要となるコンセプト設定や、完成後の発表法（プレゼンテーション、ショー）にあわせて
　準備運営を行う

　担当教員紹介・・・アパレル造形を主に指導。約 15 年マーチャンダイジング科を担当。

記載者氏名　　花田　浩朝

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	KG2	科目名	インダストリアルマーチャンダイジング	単　位	2単位
科目ｺｰﾄﾞ		科　名	ファッションマーケティングⅠ	授業期間	2023/4/13～2024/1/26

担当教員(代表)：　佐藤亜都	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

社会においてファッションがどのような位置付けにあり、それぞれがどのように作用し合っているかを、時事ネタなどを引用して解説。ファッション業界で働く上で必要な「俯瞰して物事を捉える視点」を養っていく。

【授業計画】

テーマ：“社会に生きる”ファッションブランド・アパレル企業を目指す
ゴール：常に社会へ触れ続ける「過去、未来、現在を見つめるブランド」を一気通貫で設計する

コマ数：前期（12回）後期（16回）

方法：講義や生徒による発表を混ぜながら、生徒が積極的に参加できるインタラクティブな授業を行う。
前期では基本的に講義、後期では講義と発表を隔週で行いながら、生徒自身で考え、それをまとめて伝えるということまで行う。

前期は主にSNSやウェブでのデジタルコミュニケーションや、炎上やバズについて考察していく。
後期はグループに分かれて架空のファッションブランドを作ってもらい、それぞれのペルソナや販売方法、伝達方法などを講義を交えながら考え、発表していく。

宿題：
毎回２名に「最近読んだファッションニュースのまとめと、それに対する意見」を述べてもらうプチ発表を予定。

【評価方法】
② 履修認定(P表示) 評価基準:学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	WWD JAPAN,繊研新聞,fashionsnap.comなどで掲載されている時事ネタを扱う

授業の特徴と担当教員紹介
本授業では、ファッション業界で働く上で意識してほしい「物事の俯瞰した捉え方」を、生徒にも馴染みのある時事ネタを引用し身につける訓練をする。担当教員はファッションIT企業でデジタルマーケティングやオウンドメディアの運営を経験後、フリーランスとしてモード誌ウェブメディアのSNSエディター/ライター,D2Cブランドの SNSやポップアップストアの運営を担当。

記載者氏名　佐藤亜都

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	12423	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科２年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ	606500	科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	半年

担当教員(代表)：浦川　仁	共同担当者：福持正義（ワールド社員）

【授業概要、到達目標・レベル設定】

・授業概要：VMD 基礎（VMD 基礎知識/座学、VMD 基礎知識に基づく演習・実習・プラン及び実践・応用）

・到達目標：VMD の基礎知識（プラン～実践）の習得を目指す

・レベル設定：Lv1. VMD 基礎知識を習得　Lv2. 基本的な実践（陳列・演出）が出来るレベル

Lv3. VMD 基礎知識に基づきプラン～実践（陳列・演出）の応用が出来るレベル

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内　容
1	VMD基礎1　VMDとは？（情報編）
2	VMD基礎2　VMDとは？（戦略編）
3	VMD基礎3　VMDとは？（表現編）
4	VMD基礎4　ボディーディの基礎実践
5	VMD基礎5　雑貨、レイアウトの基礎実践
6	VMD基礎6　ディスプレイプラン
7	VMD基礎７　ディスプレイ実施
8	VMD基礎8　ディスプレイ実践のまとめ及びプレゼン

【評価方法】

・授業への出席日数・座学/演習/実習の態度及び実施内容・制作物提出の有無及び制作内容

主要教材図書

参考図書

その他資料　「VMD TRAINING Manual BOOK」（ワールドオリジナル VMD 教育資料）

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル記号のＶＭＤとしての経験をもとに、ＶＭＤの基本を講義と演習により習得し、ブランディング、店舗設計を実習し実践的な授業を実施

記載者氏名　浦川　仁

２０２３年度　カリキュラム科目概要

科ｺｰﾄﾞ KG２	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科　２年	単　位	２
科目ｺｰﾄﾞ 501610	科目名	色彩計画Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：岡山文香	共同担当者：

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で習得した色彩の基礎を発展的に学習する。

配色やイメージ表現などの基本的な色彩スキルをトレーニングしたのち、コンセプト策定からプレゼンテーションまでの色彩計画の考え方を演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

１．概論　　産業における色彩の役割　〈講義　２コマ〉

流行色の仕組み

２，カラーコーディネーション　〈講義および演習　８コマ〉

色相・トーンによる配色

ファッションカラーコーディネーション

フォ・カマイユ／トーン・オン・トーン／トーン・イントーン／トーナル

ナチュラル・ハーモニー／コンプレックス・ハーモニー

色彩調和論　　配色ファイルの作成

３．イメージと色彩

色彩の心理的効果／色の連想・象徴　〈講義および演習　３コマ〉

イメージと配色／色彩によるイメージ表現

４．色彩とコミュニケーション　〈講義および演習　４コマ〉

慣用色名と系統色名／カラーシステムとカラーコード

色名ファイルの作成

５．パーソナルカラー　(講義および実習４コマ)

６．トレンドカラーの分析　〈講義および演習　３コマ〉

情報収集と整理・分析／製品色の提案

７．トレンドカラーの提案　〈講義および演習　３コマ〉

社会、ファッション環境の現状調査

コンセプトの策定／次シーズンへの提案　　プレゼンテーション資料の作成

評価方法・対象・比重

Ｓ・Ａ～Ｃ・Ｆ評価　評価基準：学業評価７０％　授業姿勢３０％

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座９『服飾デザイン』(文化服装学院編／文化出版局)

参考図書　ファッション色彩Ⅱ

その他資料　Color Chart、ベーシックカラー１４０

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルでの商品企画をする上で色彩の知識を演習を行いながらより実践的に習得していく。

記載者書名欄　岡山文香

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	12422	科　名	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱ・ﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞﾙ科　２年	単　　位	１単位
科目ｺｰﾄﾞ	500820	科目名	ファッションデザイン画　Ⅱ	授業期間	半期

担当教員(代表)：橋本　定俊	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服のデザイン、構造を的確に描くことができるようになることを第一の目標に、学生個々の表現力を伸ばしていく。
材質表現を中心としたベーシックなドローイング、彩色テクニックの習得及び明瞭なアイテム図の描き方を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

Ⅰ・ベーシックデザイン／人体プロポーションのバランス確認と応用ポーズの作成
柄、透ける素材の描き方を練習　＜２コマ＞

Ⅱ・ディテールからの造形練習／ギャザー、フレアー、プリーツ、ドレープなどのディテールを応用しデザイン展開
グレーマーカーによる陰影とホワイト彩色によるハイライト効果　＜２コマ＞

Ⅲ・各種素材表現／皮革のデザイン・・・・・マーカーの彩色技法、補助画材としての色鉛筆の使い方
デニムデザイン・・・・・パステルの彩色技法　＜２コマ＞

Ⅴ・アイテム図/衣服を明確な線図として描く。
各種アイテムのバランスの取り方とペン（太、中、細）の扱い方　＜２コマ＞

Ⅳ・絵画からの発想/画材の混色とマチエールの研究
筆のタッチによる材質感（織柄、編み地など）の描き方　＜２コマ＞

Ⅵ・アイテム研究/アイテムの歴史とディテールの研究。
基本的な構造や機能を理解した上でのデザイン展開。　＜２コマ＞

Ⅶ・創作デザインと画面構成　タブローとしてのデザイン画の表現を学ぶ　＜２コマ＞

【評価方法】

課題作品による評価　評価基準:学業評価75%、授業姿勢25%

授業の特徴と担当教員紹介

担当教員　橋本定俊

ファッションデザイン画のテクニック向上に加え、担当教員のアパレル業界でのデザイナーとしてのキャリアと知識に基づく、学生の未来に視点を置いた学習内容と指導になっている。
担当教員は、大学卒業後、文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。(株)BIGI、(株)ワールド、タケオ・キクチのアシスタントデザイナーを経て、(株)イトキンでオリジナルブランドを設立、その後 文化服装学院、文化学園大学で、ファッションデザイン画、ファッションイラストレーションの講師を務めている。(株)STHM 代表。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名　橋本定俊

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ KG2	科　名　インダストリアルマーチャンダイジング２年	単　　位	１単位
科目ｺｰﾄﾞ 200320	科目名　アパレル素材論Ⅱ	授業期間	前期（１５コマ）

担当教員(代表)：菅野めぐみ	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル素材論Ⅰで学んだ基礎知識をもとに講義・演習を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高いアパレル制作が出来る力や、取扱いを含めた素材を見る目・知識を身につける事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

１．布地の構成（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６コマ

１年次で学んだ基礎知識の復習（各繊維性能、糸、組織等について）

織編組織について、布地の構成や特徴、布地の規格、染色整理仕上げについて

織物模型制作、その他織組織スワッチ分類、布地調べ

２．風合い（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２コマ

各種風合い表現、風合いをつくるためのテクニック（繊維、糸、布地、仕上げ加工の観点から探る）

風合い別分類マップ制作

３．布地の物性実験（講義、実験）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４コマ

サンプリング、各機器を使用した物性実験、考察

４．プリーツ（熱セット）実験（講義、実験）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１コマ

熱可塑性をいかしたプリーツ・保持性実験含

５．テキスタイル産地（講義、演習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１コマ

日本のテキスタイル産地（織物・ニット産地）各産地の特色とマップ制作

６．総論（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１コマ

アパレル素材論Ⅱ総論

【評価方法】

S～C・F評価（学業評価80%　授業姿勢20%）

主要教材図書　文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブック―アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義、実験実習を行いながら素材知識を深める授業です。　文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名　菅野めぐみ

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　KG2　科　名		単　位	１単位
科目ｺｰﾄﾞ　科目名　アパレル品質論		授業期間	後期

担当教員(代表)：田村亜由美	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯などの取り扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義、演習、実習を通して学び、法律や規格を遵守した上で、実用性能、要求品質を満たしたアパレルの企画、製造、販売ができることを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ		方法	コマ数
１．アパレルと品質管理	・アパレルに求められる品質	講義	１コマ
	・アパレルの製造工程別管理		
２．品質評価試験	・品質評価試験の種類と品質管理	講義 演習	４コマ
	・染色堅ろう度試験		
	・寸法変化率試験		
３．アパレルの品質表示と法規制	・義務表示　家庭用品品質表示法	講義	４コマ
	・法規制　安全性に関わる法規制、製造物責任法、景表法		
４．アパレル製品の取扱い	・耐洗濯性　家庭洗濯とドライクリーニング	講義 実習	３コマ
	・保管		
	・耐薬品性（しみ抜き試験）		
５．アパレル製品の保証と製品事故	・商品の保証	講義	１コマ
	・製品事故の種類と原因・対策		
		計	13 コマ

【評価方法】

学業評価:80%　授業姿勢20%

主要教材図書

ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒業、職歴　都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名　田村亜由美

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　KG2	科　名　インダストリアルマーチャンダイジング科２年	単　　位	1 単位
科目ｺｰﾄﾞ	科目名　コーディネート論	授業期間	後期

担当教員(代表)：黒沢 友美	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】
ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目標とする
コーディネートを論理的に捉えることで感性の理論化を目指す

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ数	テーマ/内容	備考
1	アクセサリーに視点を置いたコーディネート（眼鏡）/ 講義・演習	
2	アクセサリーに視点を置いたコーディネート（ネックレス）/ 講義・演習	体型カバーの内容含む
3	アクセサリーに視点を置いたコーディネートまとめ / 演習・小テスト課題	
4	素材・柄に視点を置いたコーディネート / 講義・演習（スタイリング実習）	
5	素材・柄に視点を置いたコーディネート / 講義・演習（スタイリング実習）	
6	素材・柄に視点を置いたコーディネート / 演習・小テスト課題	
7	体型カバーに視点を置いたコーディネート（体型観察、体型のタイプ、プロポーションを整える ）/ 講義・演習	
8	体型カバーに視点を置いたコーディネート（ 線による錯視 ）/ 講義・演習	
9	体型カバーに視点を置いたコーディネート（ 線による錯視 ）/ 講義・演習	
10	体型カバーに視点を置いたコーディネート（ 部分カバー 首・胸 ）/ 講義・演習	
11	体型カバーに視点を置いたコーディネート（ 部分カバー 肩幅・腕・ウエスト ）/ 講義・演習	
12	体型カバーに視点を置いたコーディネート/ 錯視効果を体型カバーに活用、体型の悩み別コーディネート企画、撮影、発表	
13	体型カバーに視点を置いたコーディネート/ 錯視効果を体型カバーに活用、体型の悩み別コーディネート企画、撮影、発表	
14	体型カバーに視点を置いたコーディネート/ 錯視効果を体型カバーに活用、体型の悩み別コーディネート企画、撮影、発表	

【評価方法】　S～C・F評価
出席10%　授業態度20%　作品・プレゼンテーション50%　小テスト（授業時間内）20%

主要教材図書　文化ファッション大系ファッション流通講座⑦コーディネートテクニック演出編

参考図書　文化ファッション大系ファッション流通講座④コーディネートテクニックアクセサリー編　Ⅱ

その他資料　WWD JAPAN、繊研新聞など、ファッション誌・トレンド情報

授業の特徴と担当教員紹介
ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目標とし、ファッション業界の現場（特に接客面）での「コーディネートの印象効果」を理論的に学ぶ。

記載者氏名　黒沢 友美

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	12423	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科２年	単　　位	
科目ｺｰﾄﾞ		科目	インターネットビジネスⅠ	授業期間	後期

担当教員(代表)：深地雅也	共同担当者：

教育目標・

ECサイト運用の基礎を学習する

【授業計画】
テーマ
BASEを活用して、ECサイトの簡易的な構築から運用までを実践。
所要コマ数 コマ
（講義30%、グループワーク50%、発表20%）
使用機材：PC

【講義内容】

アパレルECの現在の環境について

アクセス解析の基礎

要件定義について

グループ単位でECサイト構築を実践。

結果をプレゼンテーションし、フィードバックを行う。

【ポイント】

・グループごとにECサイトの方向性を決めるに当たり、10サイト程度リサーチ。

→なぜ、今このブランドの調査を行うのか。

・ECサイトのどこに焦点をあてるか

→総合的に捉えることが必要

商品画像、購買層、価格帯、決済処理などを深掘りしていく。

評価方法・対象・比重

出席　70%　　授業内課題　30%

主要教材図書

その他資料

記載者書名欄　深地雅也

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　KG2　　科　名　IMD 科２年		単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ　　科目名　デザイン文化		授業期間	通期

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術作品から、デザイン、現代アートについて解説。単純に作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行ったのかを考察することでクリエイションの方法論を探り、発想の引き出しを増やすことにつなげる。また、それらの知識に基づいた実践演習も織り交ぜる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
美術史的アプローチ方法の解説	座学	1	デザイン論概説	座学	1
新古典主義、風景画、ロマン主義	座学	2	エディトリアルデザイン	実習	2
芸術のメッセージ性。クールベ、マネなど	座学	1	ディレクターの役割	座学	1
芸術の純粋性とは。印象派、ポスト印象派	座学	1	芸術家の企画力、企画書の書き方	座学	1
変容した絵画概念。セザンヌを通じて	座学	1	課題説明	座学	1
装飾概念の解説、マティスによる地と図の反転	座学	2	実習	実習	1
表現主義。ムンク、ドイツ表現主義など。	座学	2			
レディメイド、パピエ・コレ、シュルレアリスム	座学	2			
映画史解説	座学	3			
建築史概観	座学	1			
２０世紀までの文化おさらい	座学	1			
バウハウス概説	座学	1			
ポスト芸術。ポロックとウォーホール	座学	1			
現代アート概説	座学	2			

【評価方法】

出席率、授業内レポート、最終回の企画発想実習

授業の特徴と担当教員紹介

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻卒。文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に勤務。教養だけで終わりがちな西洋美術史の知識を、発想にいかせるように伝えることを目指す。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名　布施伊織

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	KG2	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科２年	単　　位	1 単位
科目ｺｰﾄﾞ		科目名	英会話Ⅰ	授業期間	前期

担当教員(代表)：三村　典召	共同担当者：増田　和香子

【授業概要、到達目標・レベル設定】英語の基礎文法の復習に加え、グループ、ペア・ワークを通し英語運用能力を高める。自分の考えをシンプルに伝えることができるようになることを目標に据える。加えて適宜ファッション関連のトピックなども導入する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course description/Self-introduction	演習	1
Activity with Alphabet Cards	演習	1
Countries and Fashion Brands	演習	1
Dates and Months	演習	1
Time and Frequency	演習	1
Interrogatives and Questions	演習	1
Giving Directions	演習	1
Adjectives	演習	1
Adjectives(2)	演習	1
Sewing Tools and Clothes-Making Process	演習	1
Number	演習	1
Fashion show	演習	1
Oral Presentation	演習	1

【評価方法】

学業評価（50%）、　授業姿勢（50%）

主要教材図書　Essential English for Fashion

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介　コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける。

記載者氏名　三村　典召

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	KG2	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科２年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ		科目名	グラフィックワーク１	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本　拓	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Illustrator や Photoshop の基本操作をメインに、デザインソフトの使用法の応用。実際にアパレルやデザインの現場で求められる入稿方法やデザイン知識を身につける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
授業内容説明	本授業の目的説明	1
Illustrator の基本操作	基本的な Illustrator の使用方法を資料を用いての説明と練習	5
名刺制作	基本操作で学んだ内容を、名刺を通して実践的な制作を行う	3
Photoshop の基本操作	基本的な Photoshop の使用方法を資料を用いての説明と練習	4
Photoshop と Illustrator の連携	基本で学んだ内容を応用し、両ソフトを連携して使用する方法を学ぶ	4
ポスター制作	印刷物の制作方法を学び、実際に入稿できるデータを制作する	3
製品図制作	製品図を制作する際に必要な知識を学び、実際に制作をする	3
仕様書制作	仕様書を制作する際に必要な知識を学び、実際に制作する	3
ZINE 制作	年度内で学んだ内容を活かし、個々でオリジナルの内容を制作する	3

【評価方法】

S～C・F評価　　評価基準：出席率・授業態度50%　課題制作物50%

主要教材図書　なし

参考図書　なし

その他資料　教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行っている。実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名　山本　拓

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	KG2	科　名	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞ科２年	単　　位	１　単位
科目ｺｰﾄﾞ	904520	科目名	キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期（　　）

担当教員(代表)：森　薫子	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

●志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う

・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる
・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる
・筆記試験

●育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1 年後期、2 年前期に学んだキャリア開発の総仕上げとして、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。
具体的にには、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル 、②PDCA サイクル、 ③企業・職種研究　などの 2 年前期に学んだ就職活動の基本を踏まえつつブラッシュアップさせ、更に以下 2 点を強化。
②　プレゼンテーション能力
②筆記試験対策

あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。
これらの「総合的就職力」を、講義＋ワーク＋実習＋SPI 対策を通して身につけさせる。
全 13 回、すべての回を通して SPI 対策を実施し、後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。

評価方法・対象・比重
受講態度（個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習）７０％＋レポート２０％＋課題１０％

主要教材図書
・BUNKA FASHION COLLEGE PLACEMENT GUIDE 2023
・レジュメ

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う。
育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う。

記載者氏名　森　薫子

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　1242	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科　2 年	単　　位	2　単位
科目ｺｰﾄﾞ 805	科目名	特別講義Ⅱa/Ⅱb	授業期間	（　通年　　）

担当教員(代表)　花田　浩朝	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の現状を主に卒業生から企業目線や実体験のアドバイス、さらに科の特色に沿った知識として講義、実習をうける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

トレンドの変遷	2コマ	澤住　倫子先生
トレンド解説	2コマ	WWDに依頼
ブランド運営	1コマ	森　崇氏
カットソーの知識と縫製	3コマ	西川　真令先生
ファッション情報とテキスタイル	1コマ	金子　博也氏
キャリア開発	7コマ	森　薫子先生
販売促進について	1コマ	酒井　英典氏
リサーチと新企画提案	2コマ	三浦　健氏
染色について	2コマ	伊藤　望先生
アパレルの企画から生産	1コマ	深澤　良宏氏
ポップアップショップ企画	１コマ	鈴木　絢也氏
アパレル企業の仕事体験	2コマ	（株）エフリード
バイヤーの業務	１コマ	未定

【評価方法】

履修認定（P）

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書　　なし

参考図書　　なし

その他資料　講師準備プリントなど

授業の特徴と担当教員紹介

科の特色にあわせ講師を依頼し、日々の授業では得られない知識を習得する

記載者氏名　　花田　浩朝

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　1242	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科　2 年	単　　位	2　単位
科目ｺｰﾄﾞ 807	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	（　通年　　）

担当教員(代表)：花田　浩朝	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日本の伝統文化に触れる機会を持ち、感性を高める。

また、アパレル企業や工場を見学し、、新しい技術や長年培われた地場産業の技術を学ぶ

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

〇デニム工場見学・・・縫製・加工・デニム

〇ONOMICHIの複合施設を利用したファッションショーの実施企画と展示

【評価方法】

履修認定（P）

出席状況により

主要教材図書

参考図書

その他資料　現地ガイドによる解説

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名　　花田　浩朝

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　1242　　科　名　インダストリアルマーチャンダイジング科　2 年		単　　位	1～２　単位
科目ｺｰﾄﾞ 808～809　科目名　企業・学内研修 a/b		授業期間	（　通年　　）

担当教員(代表)：花田　浩朝	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル業界の現場・現状を把握させるためにアパレル企業で実際に研修を受けることで学校教育では体験出来ない実学を学ぶ。

また、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講し、日常で学べない知識を得る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修

企業の業務概要と研修部門での業務について指導を受け、補助的な業務に従事する。

終了後、研修報告会をプレゼンテーションにて発表する

学内研修

オリジナルブランドにおけるシーズン企画立案　　20コマ

グラフィックワーク　　４コマ

ポートフォリオ作成　　2コマ

OEM業界について　　2コマ

リクルートカラー　　2コマ

コミュニケーションと文化　　2コマ

ピンワーク実習　　2コマ

新ブランドの立ち上げ　　２コマ

合計　36コマ

※企業研修・学内研修のどちらかを選択する

【評価方法】

履修認定（P）

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書　　なし

参考図書　　なし

その他資料　講師作成資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名　　花田　浩朝

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　1242	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科　2 年	単　　位	1　単位
科目ｺｰﾄﾞ 810	科目名	コラボレーション a/b	授業期間	（　通年　　）

担当教員(代表)：花田　浩朝	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

科の特色の科目や特別講義で習得した知識を活用し、外部講師、企業とのコラボレーション活動をグループで参加する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

外部講師・企業とのコラボレーションが実現した年度のみ行う

【評価方法】

履修認定（P）

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書　　なし

参考図書　　なし

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名　　花田　浩朝

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　12423　科　名インダストリアルマーチャンダイジング３年		単　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ 102020　科目名　マーチャンダイジング論Ⅱ		授業期間	通年

担当教員（代表）：佐藤正臣	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

★時代の変化に柔軟に対応できる MD の育成

【授業計画】
テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 企業の目的とは
- ＭＤの目的（5滴など）
- 目標の立て方
- 売上の公式
- 自分の目標発表
- ソフト/ハードMDについて
- ソフト/ハードMDが持つべき思考・資質について
- 売価/原価について
- ＯＴＢを理解する。
- 各種予算の考え方
- 各種予算の考え方２
- 数値基礎テスト
- 仕入業態を知る
- MDプランニングの基礎を知る。
- ある店舗をモデルにMD設計を学ぶ
- MD設計１
- MD設計２
- MD設計３
- MD設計４
- MD設計５
- MD設計６
- MD設計７

評価方法・対象・比重
出席：理解（６：４）

主要教材図書　弊社作成 PPT・Excel

参考図書

その他資料

【授業の特徴と担当教員紹介】
アパレル企業でのマーチャンダイザーとしての経験をもとに、時代の変化に柔軟に対応できるマーチャンダイザーを育成することを目標に指導する。

記載者氏名　佐藤正臣

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　12423　科名インダストリアルマーチャンダイジング科３年		単　位	３単位
科目ｺｰﾄﾞ 102100　科目名　マーチャンダイジング演習・企画		授業期間	通年

担当教員（代表）：佐藤正臣	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

〇卒業制作・発表へ向けてのサポートと具体的なビジネスプランの制作。
→就職してからも役立つ MD 知識を身に着ける

【授業計画】
テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1（復）売価・原価・粗利益・値入の基礎
・復習を簡単に
・粗利益の説明（小売り・製造業の違い）
2（復）OTBのロジック
3　OTB表は何故必要なのか？
・2つの基礎をくっつけたもの
・MDの目的「売上」「粗利」の向上
・在庫回転率とは？
・リテール数値マネジメントのロジック
4　仕入設計の考え方
・P/L　C/F交えながら
・必要粗利益高と粗利益率の設定
・数量を作ると何故原価率は下がるのか？
・仕入形態別の原価考察
・仕入設計の考え方
・余った在庫をどう考えるか？
5　売上の公式と販売戦略
6　MDスケジュール
7　MD予算設計～自分が実行したいディレクションを数値で表現する～
・月別売上分解
・カテゴリー別売上分解
・仕入業態別売上構成（仮）
8　アイテム・SKU数設定
・標準店舗の考え方
・販売期間の考え方
・アイテム・SKU数の算出・分解
9　OTB計画策定（カテゴリー別）→本格的なMD設計
・粗利率の月別設計
・仕入の月別設計

・在庫の月別設計

１０　卒業制作へ向けて個別サポート（ゼミ方式）

・損益計算書からのビジネス設計

・標準店舗からのアイテム・SKU設計

・MDMAP＋MD予算設計

・その他ビジネスプランにおいて必要な事項を個々にサポート

評価方法・対象・比重

出席：理解（５：５）

主要教材図書　弊社作成 PPT・Excel

参考図書

その他資料

【授業の特徴と担当教員紹介】

アパレル企業でのマーチャンダイザーとしての経験をもとに、時代の変化に柔軟に対応できるマーチャンダイザーを育成することを目標に指導する。

記載者氏名　佐藤　正臣

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	KG	科　名	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞ科３年	単　　位	１２　単位
科目ｺｰﾄﾞ	001020	科目名	アパレル造形論Ⅱ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：澁谷　摩耶	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

各自コンセプトに基づいたクリエーション性の高いデザインの表現力と企画力を向上させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論　　前期１単位　後期１単位
アパレル造形演習　デザイン　　前期２単位　後期２単位
アパレル造形演習　製作　　前期３単位　後期３単位

1、プライベートブランドⅠ
（春夏アイテム　一重ジャケットとボトムまたはワンピース）　90コマ　　前期
カジレーネ株式会社とのコラボレーション
デザイン・パターン・実物1st サンプル製作・プレゼンテーション

2、プライベートブランドⅡ　（秋冬アイテム）90コマ　　後期
デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重
制作物・コミュニケーション能力・出席状況

主要教材図書
ファッション大系・・・スーツ・ベスト　　コート・ケープ　　服飾造形応用編（特殊素材　高級素材）
立体裁断（基礎編　応用編）

参考図書　　各種コレクション情報

その他資料　　実物参考標本　プリント

記載者氏名　澁谷　摩耶

２０２３年度　カリキュラム科目概要

科ｺｰﾄﾞ　KG3　科　名　ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞ科　3年		単　位	1
科目ｺｰﾄﾞ　401100　科目名　生産企画		授業期間	前期

担当教員(代表)：　加藤　紀人	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品を生産する上で必要となる業務について、メーカーにおける生産関連担当者の職域を中心に学ぶ。

商品企画段階で設定される、品質（Q)・原価（C)・納期（D）を高水準で成立させることを目標に、生産実務に至る準備段階から事後処理までを体系的に理解する。グローバル化に伴う海外生産の拡大も視野に入れ、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案する。

応用レベル

【授業計画】

Ⅰ．ガイダンス　（１）
　①　生産に関する基礎知識

Ⅱ．生産担当者の位置づけ　（１）
　①　アパレルメーカーにおける業務の全体像
　②　生産担当者の業務領域

Ⅲ．生産実務の概要　（１）
　①　管理業務の概要
　②　生産実務の作業手順

Ⅳ．生産前準備　（３）
　①　生産計画
　②　材料調達

Ⅴ．生産実行　（３）
　①　工場の手配
　②　工賃設定
　③　納期管理

Ⅵ．生産の後処理　（１）
　①　増・減産処理

Ⅶ．入荷検査　（１）

Ⅷ．海外生産の基礎知識　（１）
　①　アパレル貿易とは
　②　世界のアパレル生産拠点　日本の輸出入の現状

Ⅸ．今後の生産管理　（１）

評価方法・対象・比重

S～C・F評価　学業評価　60%、　授業姿勢　40%

主要教材図書

参考図書

その他資料　適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

　アパレルメーカー生産担当者の職域について学ぶ。　文化服装学院　専任講師が担当。

記載者書名欄　加藤　紀人

２０２３年度　カリキュラム科目概要

科ｺｰﾄﾞ	科　名インダストリアル MD　３年	単　位	26
科目ｺｰﾄ　KG31101710	科目名　アパレル造形演習（カット＆ソー）	授業期間	2023, 4, 20～2024, 1, 18

担当教員（代表）：マレイ（有）取締役　西川　真令	共同担当者：マレイ（有）　中川絵里奈

教育目標・レベル設定など

丸編みカットソーの縫製的知識とミシン縫製取得
美しいシルエットの立体裁断基礎知識とパターンと縫製の商品仕上げ指導。

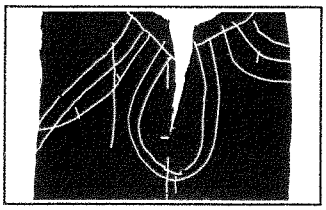
授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

講義とパターン作図と縫製実習内容
丸編みのニットジャージー素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得
美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得
パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導　。
カットソー丸編み概論・・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。

カットソー美しいシルエットのＴシャツと衿回りカッティングの説明

基本的Ｔシャツとパーカー作図指導　各自実寸のパターン製作
コラボデザインと作図　縫製実習
グループデザインの決定によりパターン修正と裁断・縫製
素材に合わせたパターンと裁断チェックから縫製に入る
マチ針を使わないで縫い上げる現代縫製工場の指導、
生地を理解させた商品としての縫製仕上げを原則として指導。
カットソーにおける W 付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿ネーム付け、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品としての実践的商品作りの縫製指導をする。
常にハイレベルなパターンと縫製仕上げからクオリティーの良い製品作りを教える。
コラボレーション　デザインその縫製仕上げ　商品検品、検針チェック仕上げ

立体裁断の作図



カットソーの基礎立体裁断講義 9/14　#11,12
ダーツ無しの美しいシルエットパターンの立体裁断の実習指導
工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

丸胴立体裁断の平面図と裁断　縫製 9/28　#13,14
丸胴カットソーのダーツの無いシルエットパターン
と縫製
常に高度な技術と縫製から製品作りを教える。
裁断、縫製指導 製品仕上げ

タンクトップと丸首Tシャツ　10/12.　#15,16.

製品染めポロ衿シャツ　　平面作図　講義 10/26.　作図裁断 11/16…#17,18,….#19.20.

アパレル企業では一度は企画するであろう製品染めの経験を指導する
精錬綿糸の縫製指導、綿鹿の子解説、
ポロ衿あき　男明き、女明き前立て作図
編立てリブ、袖リブ、衿織り伏せテープの編みたて発注。
リブ編地の耳を使う高級仕上げ縫製指導　一枚のパターンで作る前立て縫製、一枚のパターンで作る片玉縁ﾎﾟｹｯﾄ、袖口リブの高級仕上げ、クラッシック・スリット縫製指導

縫製実習 11/30、12/14。　　#21,22,　23,24,

提出が遅れている生徒は1月予定調整、縫製仕上げを見る。

製品染めポロシャツ染色　1/18　　#25,26

服を形成する　染めはTOPS染め、先染め、反染め、製品染めの総てを1年間で実践的に学ぶカリキュラムです
製品染めを含めた企画　一般企業で行う企画のプレ経験となる。

評価方法・対象・比重

実技評価　S　A　B　C

主要教材図書　　「カットソー･立体裁断・縫製」の本

参考図書　　洋書

その他資料　　パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材　やサンプルを参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴：
縫製はイージーな開発国的縫製ではなく　クラッシックは基本縫製を含めての現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。実践教育としてKnowledge is Powerの考えで教える、社会に出て即戦力　就職した企業で活用できるパターン･縫製・デザインの指導教育。
担当者員紹介：
大学卒業後　文化服装学院　服飾産業科2年編入学、デザイン科在学中 山本寛斎のカンサイスポーツの仕事をする、㈱寛斎　入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は㈱アルファーキュウビック、㈱菊池武夫でデザイナー後、
1985年マレイ(有)設立　㈱イッセイミヤケ、㈱ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もギャルソン、トーガ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ビアンカ、コズミックワンダー等デザイナーブランドを手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に企業活動をしている。

記載者書名欄　マレイ(有)取締役西川真令　アシスト中川絵里奈

2023 年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ KG3	科　名 インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単　位	2
科目ｺｰﾄﾞ	科目名 テキスタイル造形演習	授業期間	通年

担当教員：眞田玲子	

教育目標・レベル設定など

前期：「手織り」を通じて、布帛の構造や特徴を理解することで、アパレルデザインにおけるテキスタイルの可能性を学ぶ。
後期：テキスタイルデザインにおける先染め、後染め、染色仕上げ加工の技法の理解と習得。

【授業計画】

「織物実習」

基礎織り　織機の構造及び　紡毛　綿糸　2種の糸を用いて制作を通して素材違いから織物風合い　特徴を理解する。1 コマ

ウールの原毛フェルトによる　立体小物制作（ドライフェルト　ウェットフェルト制作）　2コマ

プラプレートによる表面効果　アルミホイル　スポンジなど　様々な資材で線から面を構成する。1 コマ

（計 4 コマ）

「染色加工」

①　布地の造形要素として背景、意義、目的の理解をする
精錬　漂白等工程の復習　2 コマ
先染め　直接酸性染料にて原料、繊維の染色を学ぶ
②　テクスチュアと加工、後加工、固着 8 コマ、
溶解 4 コマ
抜染 2 コマ　等表面加工。地風、地合いの表現を学ぶ　（計 16 コマ）

「オリジナルの布作り」

卒制や　コンテスト出品をふまえ　各自の企画でオリジナルテキスタイル制作
また、アパレル素材　ファッショングッズ、小物の企画、制作　（10 コマ）

評価方法・対象・比重　：①試験0%　②課題提出 70%③授業姿勢 10%④出欠席 20%⑤その他0%による総合評価

主要教材　アパレル染色論（文化服装学院教科書）

参考図書　なし

その他資料　なし

授業の特徴と担当教員紹介

基本的な織物制作の工程や染色加工技法（浸染・捺染・溶解）を実習する。

眞田玲子　企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者書名欄　眞田玲子

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	12423	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科３年	単　　位	2
科目ｺｰﾄﾞ	600920	科目名	ファッションマーケティングⅡ	授業期間	前期

担当教員(代表)：深地雅也	共同担当者：

教育目標・

アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。

【授業計画】

テーマ

実践的なマーケティングの基礎知識を講義し、グループワークにて検証、発表を行う。

所要コマ数 14 コマ

（講義 50%、グループワーク 35%、発表 15%）

使用機材：PC

【講義内容】

マーケティングとは

マーケットトレンド

ブランドビジネス

講義にて既存のブランド紹介を行い、グループ単位でブランド調査を行う。

結果をプレゼンテーションし、フィードバックを行う。

【ポイント】

・どこのブランドをテーマとするか

→なぜ、今このブランドの調査を行うのか。時事、コレクション、トレンドとの関係性

・ブランドのどこに焦点をあてるか

→総合的に捉えることが必要だが、最初はデザイン、パターン、店舗、EC などどこか１つテーマを決め、

その部分を深掘りしていく。

次回は違う視点からブランドを捉え、多角的に分析する力を身に着ける

評価方法・対象・比重

出席　70%　　授業内課題　30%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	12423	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科３年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ	606500	科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表)：浦川　仁	共同担当者：福持正義（ワールド社員）

【授業概要、到達目標・レベル設定】

・授業概要：VMD 基礎（VMD 基礎知識/座学、VMD 基礎知識に基づく演習・実習・プラン及び実践・応用）

・到達目標：VMD の基礎知識（プラン～実践）の習得を目指す

・レベル設定：Lv1. VMD 基礎知識を習得　Lv2. 基本的な実践（陳列・演出）が出来るレベル

Lv3. VMD 基礎知識に基づきプラン～実践（陳列・演出）の応用が出来るレベル

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内　容
1	VMD基礎1　VMDとは？（情報編）
2	VMD基礎2　特別授業/百貨店のVMDを学ぶ（新宿伊勢丹VMD清水様登壇）
3	VMD基礎3　VMDとは？（戦略編）
4	VMD基礎4　VMDとは？（表現編）
5	VMD基礎5　ボディーディ、雑貨、レイアウトの基礎実践
6	VMD基礎6　ディスプレイプラン
7	VMD基礎7　ディスプレイ実施
8	VMD基礎8　ディスプレイ実践のまとめ及びプレゼン
9	VMD応用1　MDの授業と連動しVMDに基づきオリジナルの店舗プラン（店舗意図及び図面・模型）を制作（実習）
10	VMD応用2　MDの授業と連動しVMDに基づきオリジナルの店舗プラン（店舗意図及び図面・模型）を制作（実習）
11	VMD応用3　MDの授業と連動しVMDに基づきオリジナルの店舗プラン（店舗意図及び図面・模型）を制作（実習）
12	VMD応用4　MDの授業と連動しVMDに基づき卒業制作展示プラン（演出表現意図及び図面・模型）を制作（実習）
13	VMD応用5　MDの授業と連動しVMDに基づき卒業制作展示プラン（演出表現意図及び図面・模型）を制作（実習）
14	VMD応用6　MDの授業と連動しVMDに基づき卒業制作展示プラン（演出表現意図及び図面・模型）を制作（実習）
15	VMD応用7　卒業制作プレゼン

【評価方法】

・授業への出席日数・座学/演習/実習の態度及び実施内容・制作物提出の有無及び制作内容

主要教材図書

参考図書

その他資料　「VMD TRAINING Manual BOOK」（ワールドオリジナル VMD 教育資料）

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル記号のＶＭＤとしての経験をもとに、ＶＭＤの基本を講義と演習により習得し、ブランディング、店舗設計を実習し実践的な授業を実施

記載者氏名　浦川　仁

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	KG3	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科３年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ		科目名	セールスワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)：　小林章子	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

販売員の重要性、必要性を理解する　／　接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ

接客販売の基本の流れと、販売員としての基本的な立ち居振る舞いを身に付ける　／　販売員として活躍するための心構えを理解する

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
・第一印象の重要性	講義・ディスカッション	1
・販売員の基本マナー	講義・ロールプレイング	1
・商品の取り扱いの基本	講義・ロールプレイング	1
・理想的な販売員とは	講義・ディスカッション	1
・お客さまの購買心理とFAの対応	講義・ロールプレイング	1
・待機姿勢～迎え入れ	講義・ロールプレイング	1
・ファーストアプローチ	講義・ロールプレイング	2
・会話を弾ませながら情報収集	講義・ロールプレイング	2
・根拠ある商品提案	講義・ロールプレイング	2
・フィッティング対応	講義・ロールプレイング	1
・コーディネート提案	講義・ロールプレイング	1
・ネックポイントの解消	講義・ロールプレイング	1
・クロージング	講義・ロールプレイング	1
・レジ応対～お見送り	講義・ロールプレイング	1
・顧客作り	講義	1
・商品研究と接客プラン	講義・ワーク・ロールプレイング	2
・ロールプレイング	ロールプレイング	2
・ロールプレイングテスト	ロールプレイング	5
・これからのファッション販売	講義・ディスカッション	1
・社会で活躍するために	講義・ディスカッション・発表	1
・ビジョン作成　　・まとめ	ワーク・講義	1

【評価方法】 Ｓ～Ｃ・Ｆ評価　　評価基準　学業評価50%：ロールプレイングテスト、レポート、ファイル管理
授業姿勢50%：出席状況、授業に対する参加度による総合評価

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業での接客販売、マネジメント、店舗運営、VMD、スタッフ研修等の業務経験をもとに、接客販売の重要性やファッション業界で必要とされるコミュニケーションスキル・マナー・テクニックをロールプレイング形式で実践的に指導。課題点を捉え、改善につなげるプロセスも身に付ける。

記載者氏名　小林章子

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	12423	科　名	インダストリアルマーチャンダイジング科３年	単　　位	２
科目ｺｰﾄﾞ		科目	インターネットビジネスⅡ	授業期間	後期

担当教員(代表)：深地雅也	共同担当者：

教育目標・

ECサイトの基本的な仕組みを理解し、その重要性を理解する

【授業計画】

テーマ

既存のECサイトについて分析し、購買につながる基礎知識をグループワークにて学ぶ

所要コマ数14コマ

（講義50%、グループワーク35%、発表15%）

使用機材：PC

【講義内容】

インターネットビジネスとは

マーケットトレンド

ブランドビジネス

講義にて既存のブランドECサイト分析を行い、グループ単位で調査を行う。

結果をプレゼンテーションし、フィードバックを行う。

【ポイント】

・どこのブランドECサイトをテーマとするか

→なぜ、今このブランドの調査を行うのか。時事、コレクション、トレンドとの関係性

・ECサイトのどこに焦点をあてるか

→総合的に捉えることが必要

商品画像、購買層、価格帯、決済処理などを深掘りしていく。

評価方法・対象・比重

出席　70%　　授業内課題　30%

主要教材図書

その他資料

記載者書名欄　深地雅也

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	科　名 インダストリアルマーチャンダイジング科３年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ	科目名 グラフィックワーク２	授業期間	（通年）

担当教員（代表）：加藤 正人	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】
ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自の企画デザイン力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。ブランド企画に基づいた、ロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。

【授業計画】
(1)ブランドロゴの製作(8 コマ)
- CI(コーポレートアイデンティティー)について
- ブランドロゴの機能と役割について
- シンボル、図形、マークのデザイン製作
- 文字、タイプのデザイン製作

(2)ブランディングツールのデザイン(7 コマ)
- 各ブランディングツールの機能と役割について
- 商品下げ札(プロダクトカード)のデザイン
- 織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
- ショッパーのデザイン
- 自由製作

(3)コンセプトビジュアルの製作(6 コマ)
- ブランドのコンセプトをビジュアルイメージで表現する。
- 画像のコラージュ、加工、編集による表現。
- スタイリングマップの製作
- イラストレーターによる写真の構成、エディトリアル

(4)ブランド・シグネチャーパターンの製作(6 コマ)
- モノグラムのデザイン
- オリジナルテキスタイル商品の企画デザイン
- Illustrator によるオリジナルグラフィックパターン/柄の制作
- 柄の送り、四方連続リピート
- 柄の配色バリエーションの製作
- 柄のデザイン画、アイテムへの落とし込み
- モックアップイメージへの展開
- レイアウト、デザイン解説とまとめ

(5)デジタルファッション画の制作(3 コマ)
- Photoshop によるファッションデザイン画、スタイル画の製作
- Illustrator による衣服製品図の製作
- デザインの展開
- デザイン画のまとめ方/レイアウト

使用ソフト
- Adobe Photoshop
- Adobe Illustrator

【評価方法】
- 提出課題
- 出席率、授業態度

主要教材図書・なし

参考図書・なし

その他資料・課題別各種プリント、作例

授業の特徴と担当教員紹介
アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。
ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。
デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　KG		科　名	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞ科３年	単　　位	２単位
科目ｺｰﾄﾞ 980031	980031	科目名	特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：澁谷　摩耶	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1、テキスタイル企画　（2 コマ）
2、デジタルプリントに関して（1 コマ）
3、日本の伝統技法（加工）（1 コマ）
4、副資材の知識　（1 コマ）
5、インターネットビジネス（8 コマ）
6、ビジュアルマーチャンダイジング表現　（5 コマ）
7、2024AW 企画に関しての解説（2 コマ）
8、CAD の基礎知識（3 コマ）
9、3DCAD の基礎知識（3 コマ）

評価方法・対象・比重

出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名　澁谷　摩耶

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　KG	科　名	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞ科３年	単　　位	１　単位
科目ｺｰﾄﾞ 947300	科目名	コラボレーションｃ（自由選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：澁谷　摩耶	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

企業とのコラボレーションを通して、各自コンセプトに基づいたクリエーション性の高いデザインの表現力を向上させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

・企業とのコラボレーションにより自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。
人と人との様々な繋がりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。

評価方法・対象・比重

出欠、作品・発表・商品制作及びレポート提出　コミュニケーション能力

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名　　澁谷　摩耶

２０２３年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　KG	科　名	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙﾏｰﾁｬﾝﾀﾞｲｼﾞﾝｸﾞ科３年	単　　位	４単位
科目ｺｰﾄﾞ 970000	科目名	卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：澁谷　摩耶	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

・マーチャンダイジング計画（ブランド設定からプレゼンテーションまで）

・ブランド商品の開発（デザイン開発及び製品製作）

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

プライベートブランドⅡの企画とし、２０２４A/W のマーチャンダイジング計画に
基づき商品開発を行う。　　（５８コマ）

1、デザイン･パターン･実物製作

2、卒業製作発表

評価方法・対象・比重

制作物・出席状況・コミュニケーション能力

主要教材図書

参考図書　　各種コレクション情報

その他資料　　トワル仮縫い及び実物参考作品

記載者氏名　澁谷　摩耶